

4 生活機能評価等に関する分析

(1) 機能別リスク該当者割合の分析

①運動器

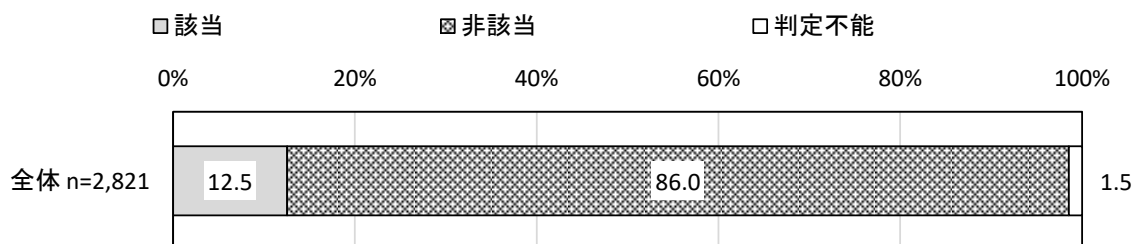
国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、5項目のうち3項目以上に該当する人を運動器のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問7	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	できない
問8	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	できない
問9	15分位続けて歩いていますか	できない
問10	過去1年間に転んだ経験がありますか	何度もある 1度ある
問11	転倒に対する不安は大きいですか	とても不安である やや不安である

【リスク該当状況】

運動器の評価結果をみると、該当者の割合は12.5%となっています。



②閉じこもり

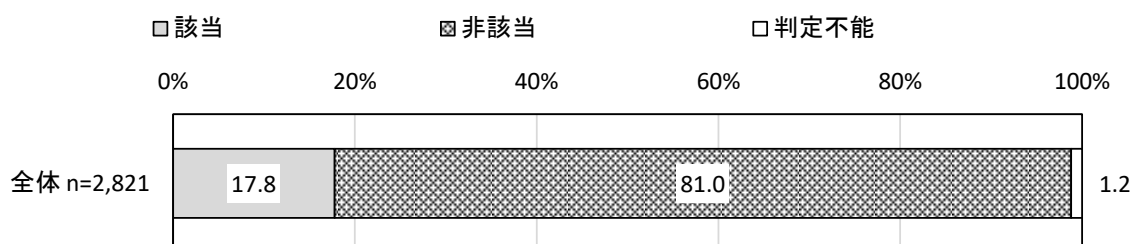
国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を閉じこもりのリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問 12	週に1回以上は外出していますか	ほとんど外出しない 週1回

【リスク該当状況】

閉じこもりの評価結果をみると、該当者の割合は17.8%となっています。



③転倒

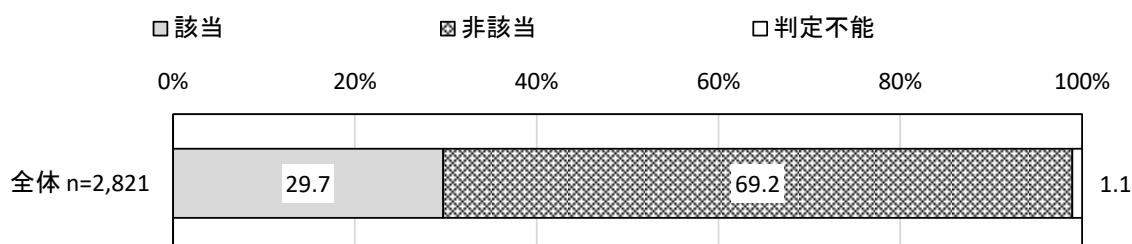
国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を転倒のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問 10	過去1年間に転んだ経験がありますか	何度もある 1度ある

【リスク該当状況】

転倒の評価結果をみると、該当者の割合は29.7%となっています。



④栄養

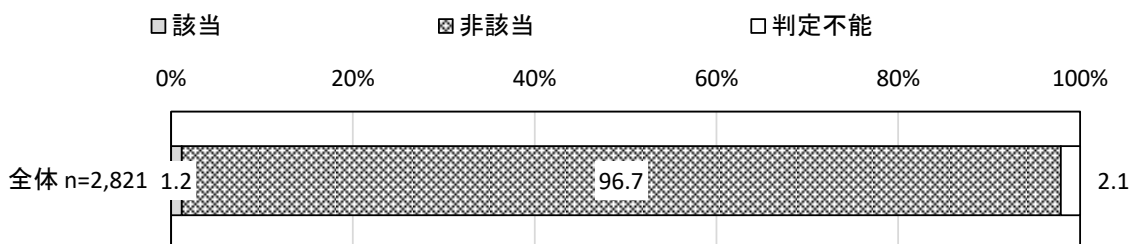
国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、2項目のすべてに該当する人を低栄養のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問 16	身長・体重	BMI 18.5 未満
問 22	6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	はい

【リスク該当状況】

栄養の評価結果をみると、該当者の割合は1.2%となっています。



⑤口腔

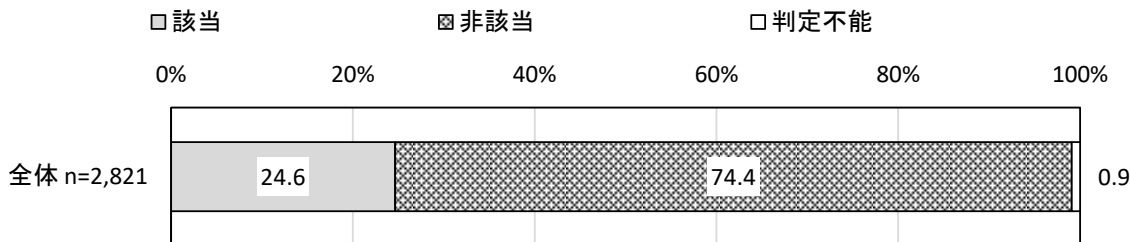
国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、3項目のうち2項目以上に該当する人を口腔機能のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問 17	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	はい
問 18	お茶や汁物などでむせることがありますか	はい
問 19	口の渇きが気になりますか	はい

【リスク該当状況】

口腔の評価結果をみると、該当者の割合は24.6%となっています。



⑥ 認知

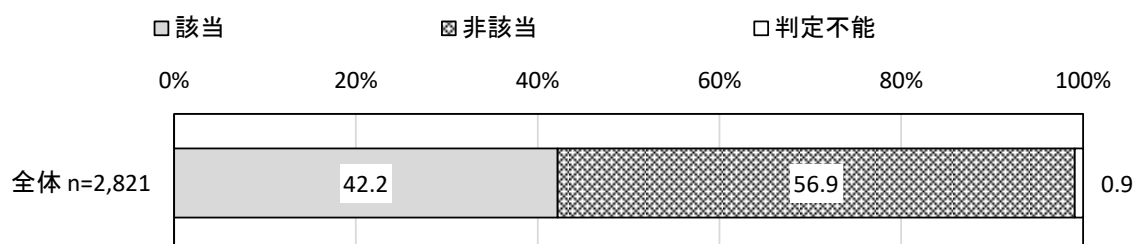
国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を認知機能のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問 24	物忘れが多いと感じますか	はい

【リスク該当状況】

認知の評価結果をみると、該当者の割合は42.2%となっています。



⑦ うつ

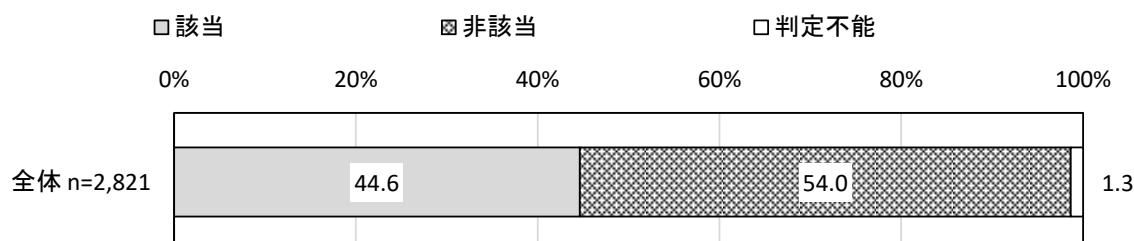
国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、2項目のうち1項目以上に該当する人をうつのリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問 56	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	はい
問 57	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	はい

【リスク該当状況】

うつの評価結果をみると、該当者の割合は44.6%となっています。



(2) 日常生活

①手段的自立度 (IADL)

高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができる老研式活動能力指標には、高齢者の手段的自立度 (IADL) に関する設問が5問あり、「手段的自立度 (IADL)」として尺度化されています。

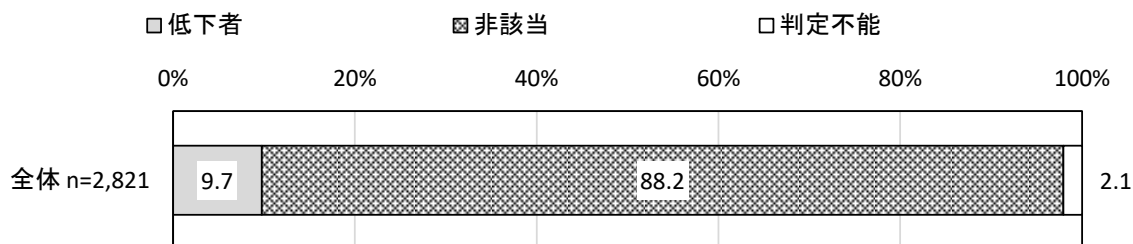
評価は、各設問に「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した場合を1点として、5点満点で評価し、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価しています。また、4点以下を手段的自立度の低下者とし、低下者の割合を示しています。

【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問 27	バスや電車を使って1人で外出していますか	できるし、している：1点 できるけどしていない：1点
問 28	自分で食品・日用品の買物をしていますか	できるし、している：1点 できるけどしていない：1点
問 29	自分で食事の用意をしていますか	できるし、している：1点 できるけどしていない：1点
問 30	自分で請求書の支払いをしていますか	できるし、している：1点 できるけどしていない：1点
問 31	自分で預貯金の出し入れをしていますか	できるし、している：1点 できるけどしていない：1点

【リスク該当状況】

手段的自立度 (IADL) の評価結果をみると、低下者の割合は9.7%となっています。



(3) 社会参加

①知的能動性

老研式活動能力指標には、高齢者の知的活動に関する設問が4問あり、「知的能動性」として尺度化されています。

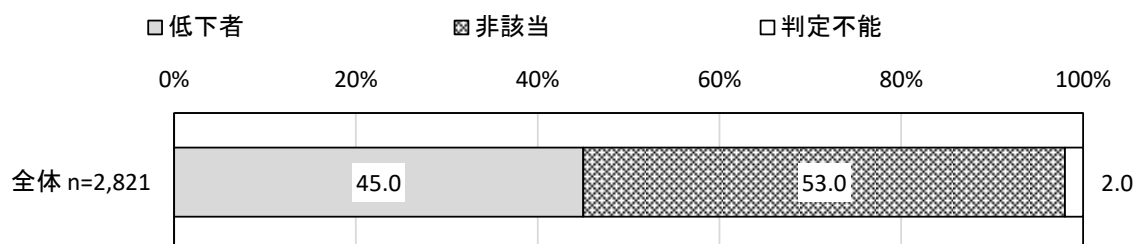
評価は、各設問に「はい」と回答した場合を1点として、4点満点で評価し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価しています。また、3点以下を知的能動性の低下者とし、低下者の割合を示しています。

【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問 32	年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか	はい：1点
問 33	新聞を読んでいますか	はい：1点
問 34	本や雑誌を読んでいますか	はい：1点
問 35	健康についての記事や番組に関心がありますか	はい：1点

【リスク該当状況】

知的能動性の評価結果をみると、低下者の割合は45.0%となっています。



②社会的役割

老研式活動能力指標には、高齢者の社会活動に関する設問が4問あり、「社会的役割」として尺度化されています。

評価は、知的能動性と同様に4点満点で評価し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価しています。また、3点以下を社会的役割の低下者とし、低下者の割合を示しています。

【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問 36	友人の家を訪ねていますか	はい：1点
問 37	家族や友人の相談にのっていますか	はい：1点
問 38	病人を見舞うことができますか	はい：1点
問 39	若い人に自分から話しかけることがありますか	はい：1点

【リスク該当状況】

社会的役割の評価結果をみると、低下者の割合は68.7%となっています。

